

2025年3月期 中間期
決算説明資料

2024年11月18日
内外テック株式会社
(証券コード 3374)



2025年3月期 中間期
決算ハイライト

本日のポイント

POINT

1

2025年3月期 中間期実績

在庫調整の影響により、減収減益

売上高 **16,161**百万円
(前年同期比▲21.1%)

営業利益 **423**百万円
(前年同期比▲18.8%)

親会社株主に帰属する中間純利益 **252**百万円
(前年同期比▲22.1%)

POINT

2

2025年3月期予想

下期からの回復を見込み増収増益

売上高 **43,800**百万円
(前期比12.3%)

営業利益 **1,540**百万円
(前期比26.4%)

親会社株主に帰属する当期純利益 **1,030**百万円
(前期比21.4%)

POINT

3

技術投資

- ・ 前期開設した江刺、厚木開発センターに続き、24年4月に仙台開発センターを開設し、技術者の増員を図る
- ・ 開発・生産のため岩手県江刺市に新たな土地購入（24年12月予定）



2025年3月期 中間期
連結業績・事業概況

2025年3月期 中間期 業績

- ・在庫調整の影響を受け減収減益になるも、原価率の改善により利益は期初予想を上回る

決算実績

(百万円)	2024.3期 上期			2025.3期 上期			
	実績	前年同期比	構成比	実績	前年同期比	構成比	期初予想
売上高	20,478	▲11.9	100.0	16,161	▲21.1%	100.0	18,130
売上原価	18,510	▲9.6	90.4	14,228	▲23.1%	88.0	—
販管費	1,446	4.3	7.1	1,510	4.4%	9.3	—
営業利益	521	▲62.2	2.5	423	▲18.8%	2.6	390
経常利益	507	▲63.1	2.5	403	▲20.5%	2.5	380
親会社株主に帰属する 中間純利益	324	▲64.7	1.6	252	▲22.1%	1.6	234

売上高・営業利益（四半期ベース）の推移

・ 期初からの売上減少により、減収減益に

売上高

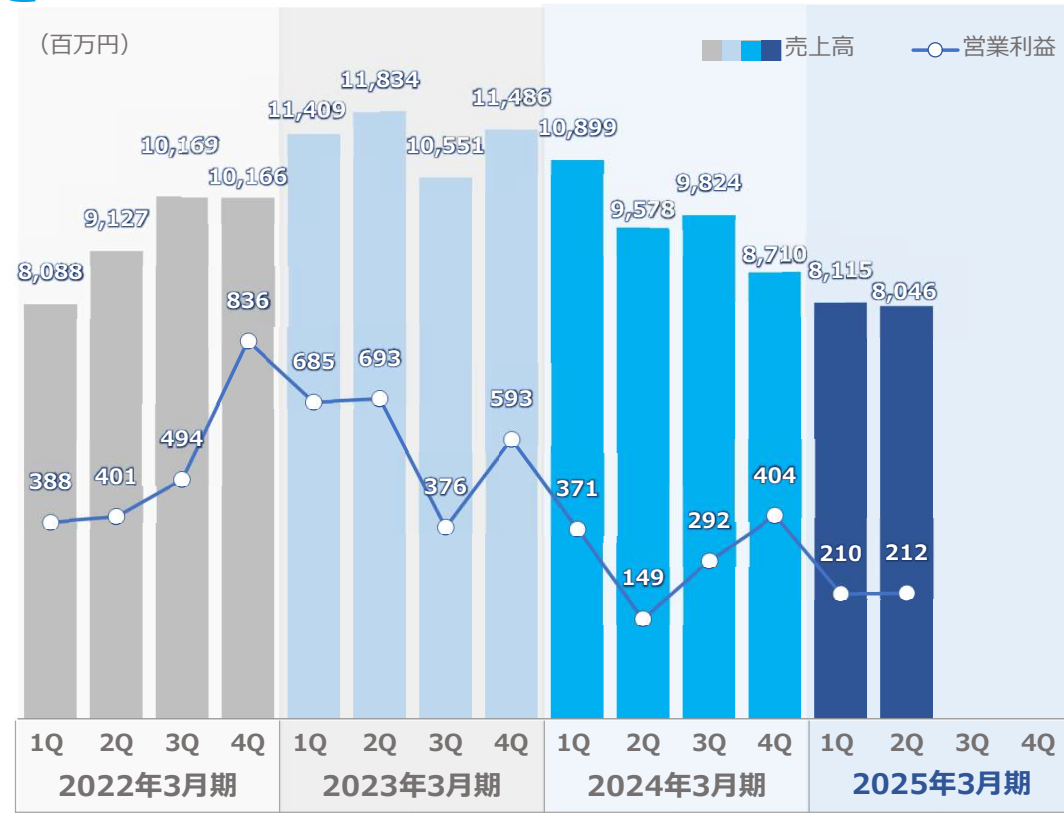
16,161百万円（前年同期比▲21.1%）

- 前期より下降傾向が続き、1Q、2Qとも前年同期比で2桁の減収
- 市場回復が見られるも、顧客の在庫調整から受注の回復が遅延

営業利益

423百万円（前年同期比▲18.8%）

- 前期4Qにかけて回復傾向にあったが、今1Qに落ち込み、2Qも低迷し、直近4期では最も低い水準に
- 利益率改善を図るも、売上高の減少から減益に



(百万円)	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	17,215	20,335	23,243	22,037	20,478	18,535	16,161	-
営業利益	790	1,331	1,378	970	521	696	423	-

売上総利益率・販管費（四半期ベース）の推移

・ 期初からの売上減少により利益も減少し、減収減益に

売上総利益率

12.0%（前年同期比+2.4ポイント）

- 販売価格の見直しが進み、売上総利益率は改善

販売管理費

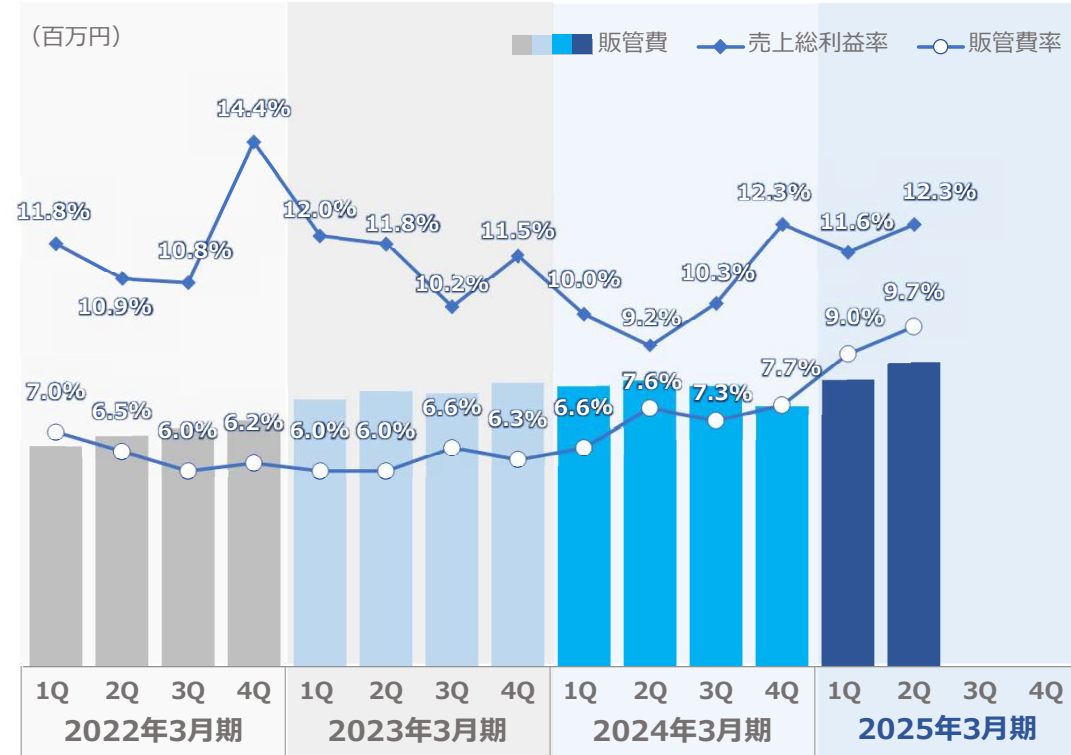
1,510百万円（前年同期比+4.4%）

- 業務改善を進めるも人件費や減価償却費等の費用増加

販売管理費率

9.3%（前年同期比+2.2ポイント）

- 費用増加に加え、売上高が減少し、販管費率は上昇



	2024年3月期		2025年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上総利益率	11.3%	12.6%	11.9%	10.9%	9.6%	11.2%	12.0%	-
販管費	1,152	1,237	1,386	1,423	1,446	1,383	1,510	-
販管費率	6.7%	6.1%	6.0%	6.5%	7.1%	7.5%	9.3%	-

セグメント別概況 販売事業

- 前期から継続する売上減少により利益も減少し、減収減益に

セグメント売上高

14,248百万円 (前年同期比▲24.9%)

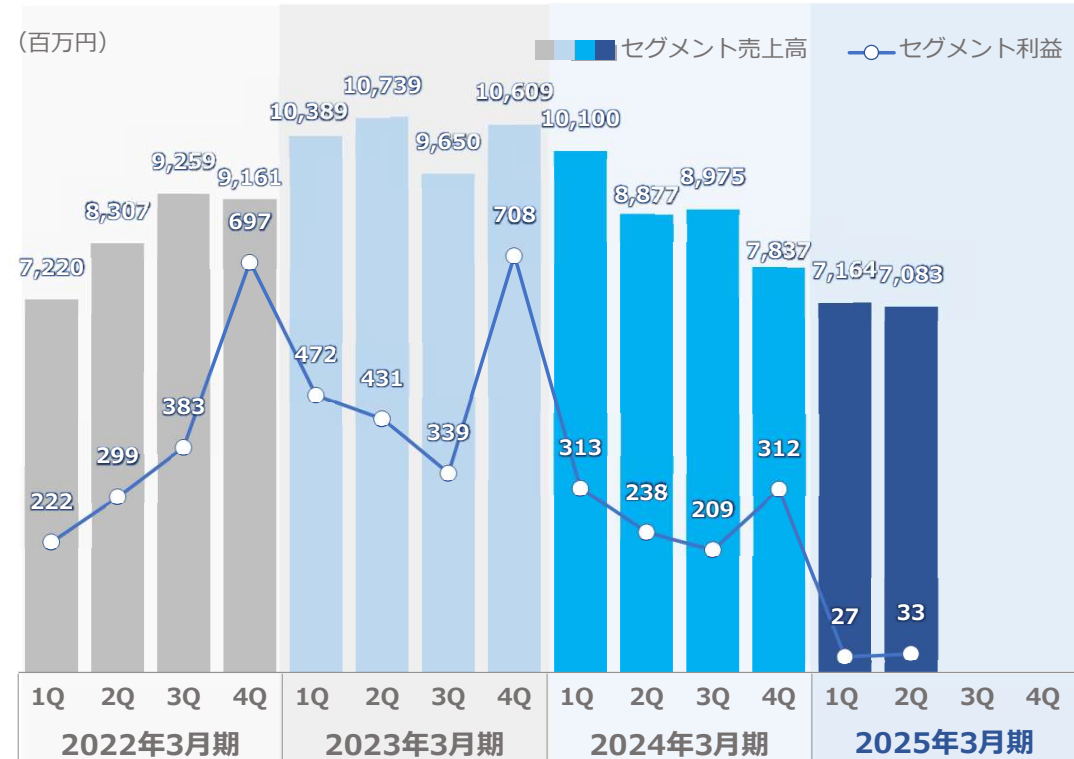
- 前期から続く在庫調整等による影響から、今上期も低迷

セグメント利益

61百万円 (前年同期比▲88.9%)

- 売上高減少に伴う売上総利益の減少
- 社員採用に係る費用の増加
- グループ内物流センター統合や、今後の成長を見据えた物流スキーム変更に伴い、一時的に費用増加

(注) セグメント売上高及びセグメント利益は、連結調整前の数値となっております



	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
セグメント売上高	15,528	18,421	21,128	20,260	18,978	16,812	14,248	-
セグメント利益	521	1,081	903	1,047	551	521	61	-
セグメント利益率	3.4%	5.9%	4.3%	5.2%	2.9%	3.1%	0.4%	-

セグメント別概況 受託製造事業

- 主要顧客からの受注増加し増収、利益は大幅に改善

セグメント売上高

2,855百万円 (前年同期比+7.6%)

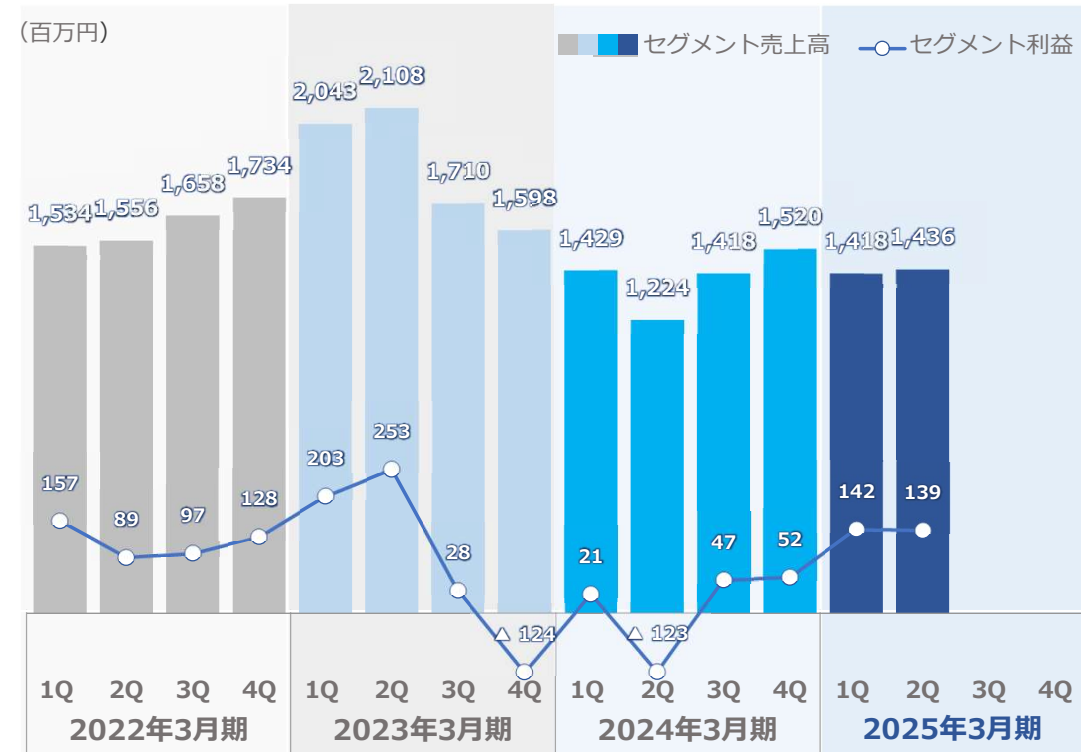
- 半導体市場の回復を受けて主要顧客からの受注増加
- 実質売上は増加するも、当期よりグループ効率化推進策として内外テックによる仕入れ業務のグループ集中を行ったことから、受託製造事業における売上高は純額表示による相殺を受け、前下期に比べ会計上減収

セグメント利益

281百万円 (前年同期比 -)

- 売上増加に伴い稼働率が改善し、大幅に増益
- 仕入売上のスキーム変更により原材料費率が低減
- グループ内物流センター統合による固定費の減少

(注) セグメント売上高及びセグメント利益は、連結調整前の数値となっております

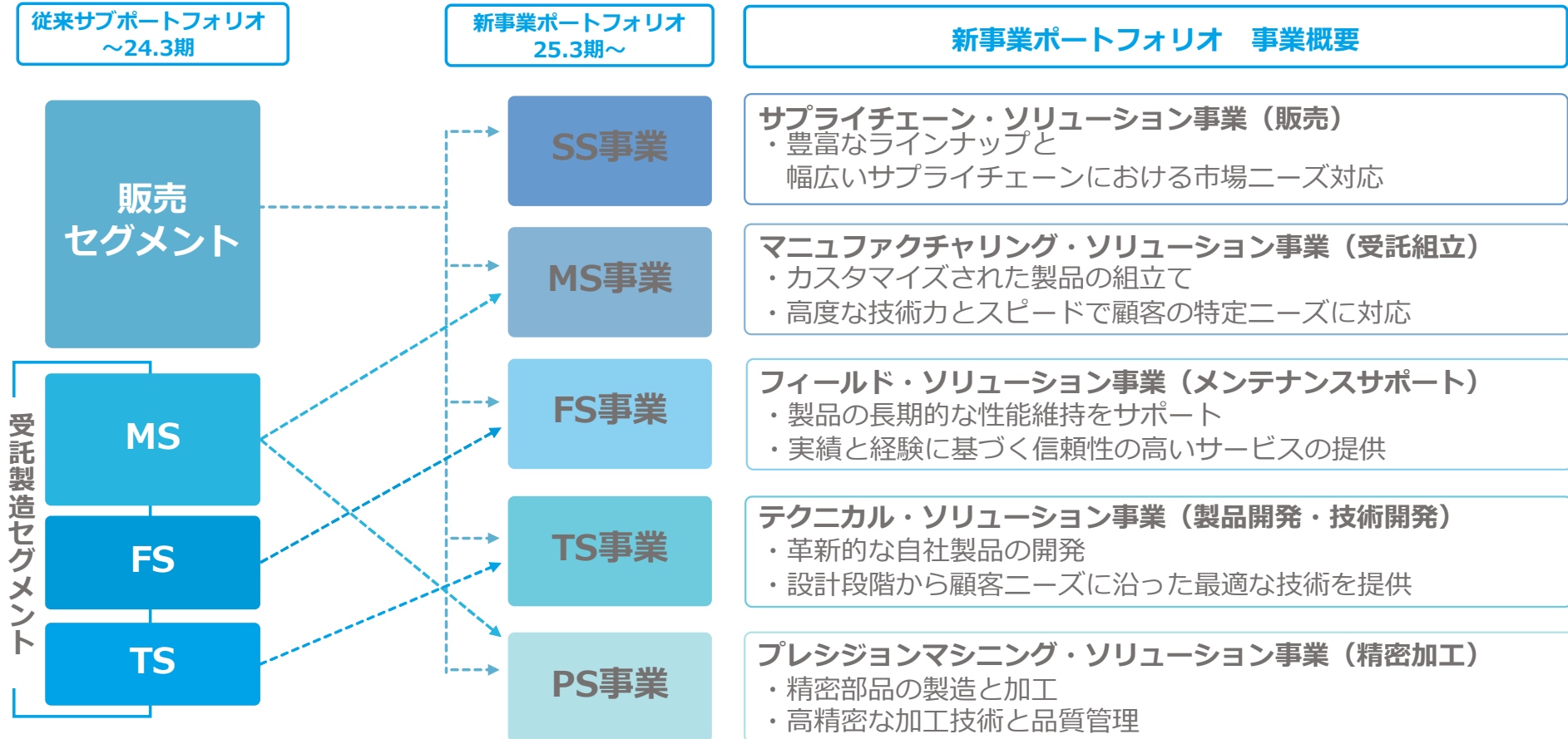


	2024年3月期		2025年3月期	
	上期	下期	上期	下期
セグメント売上高	3,090	3,392	4,151	3,309
セグメント利益	246	226	456	▲95
セグメント利益率	8.0%	6.7%	11.0%	-

事業ポートフォリオ概要

- ・ 資本の最適配分を目指し、事業ポートフォリオを見直し

事業ポートフォリオの概要



事業ポートフォリオ別概況

サプライチェーン・ソリューション事業

- 在庫調整の影響により前1Qから下降傾向

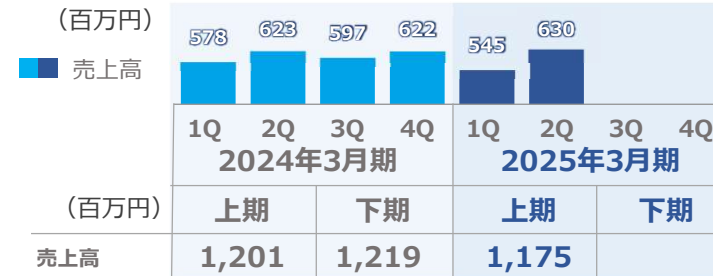


マニュファクチャリング・ソリューション事業

- 主要顧客からの受注増加を受けて増収傾向

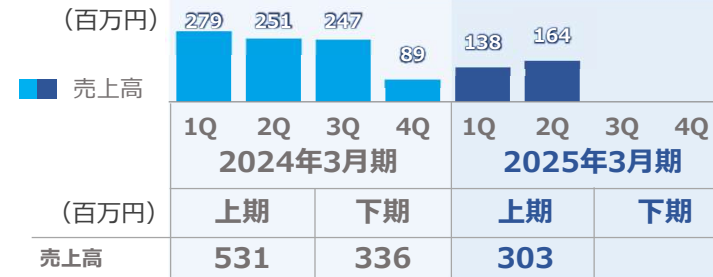


フィールド・ソリューション事業



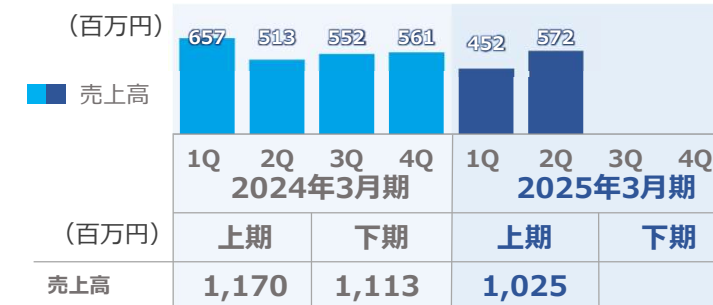
- 顧客の生産調整による装置立上や修理・メンテナンス受注の減少

テクニカル・ソリューション事業



- 顧客からの受注減少を受けて減収するも、前4Qを底に回復傾向

プレジジョンマシニング・ソリューション事業



- 在庫調整の影響により1Qは低下するも、他製品が下支え

連結貸借対照表

- ・ 下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の趣旨を鑑みた政府の要請を受けて、支払サイトを短縮したことにより買掛債務及び現預金は減少
- ・ 配当拠出より純資産は減少するも、総資産の圧縮により自己資本比率は改善

連結貸借対照表

(百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
現金・預金	10,931	10,909	10,378	7,867
売上債権	7,766	7,036	5,956	5,681
棚卸資産	3,047	2,829	2,417	2,795
有形固定資産	6,462	6,224	6,271	6,189
その他流動資産	1,602	1,657	1,831	1,649
買入債務	11,452	10,973	9,147	7,316
有利子負債	5,021	4,938	4,379	3,827
その他負債	2,807	2,126	2,181	1,982
純資産	10,728	10,712	11,438	11,191
自己資本比率	35.7%	37.3%	42.1%	46.0%

(百万円)

2023年3月末

2023年9月末

2024年3月末

2024年9月末

純資産

10,728

10,712

11,438

11,191

自己資本比率

35.7%

37.3%

42.1%

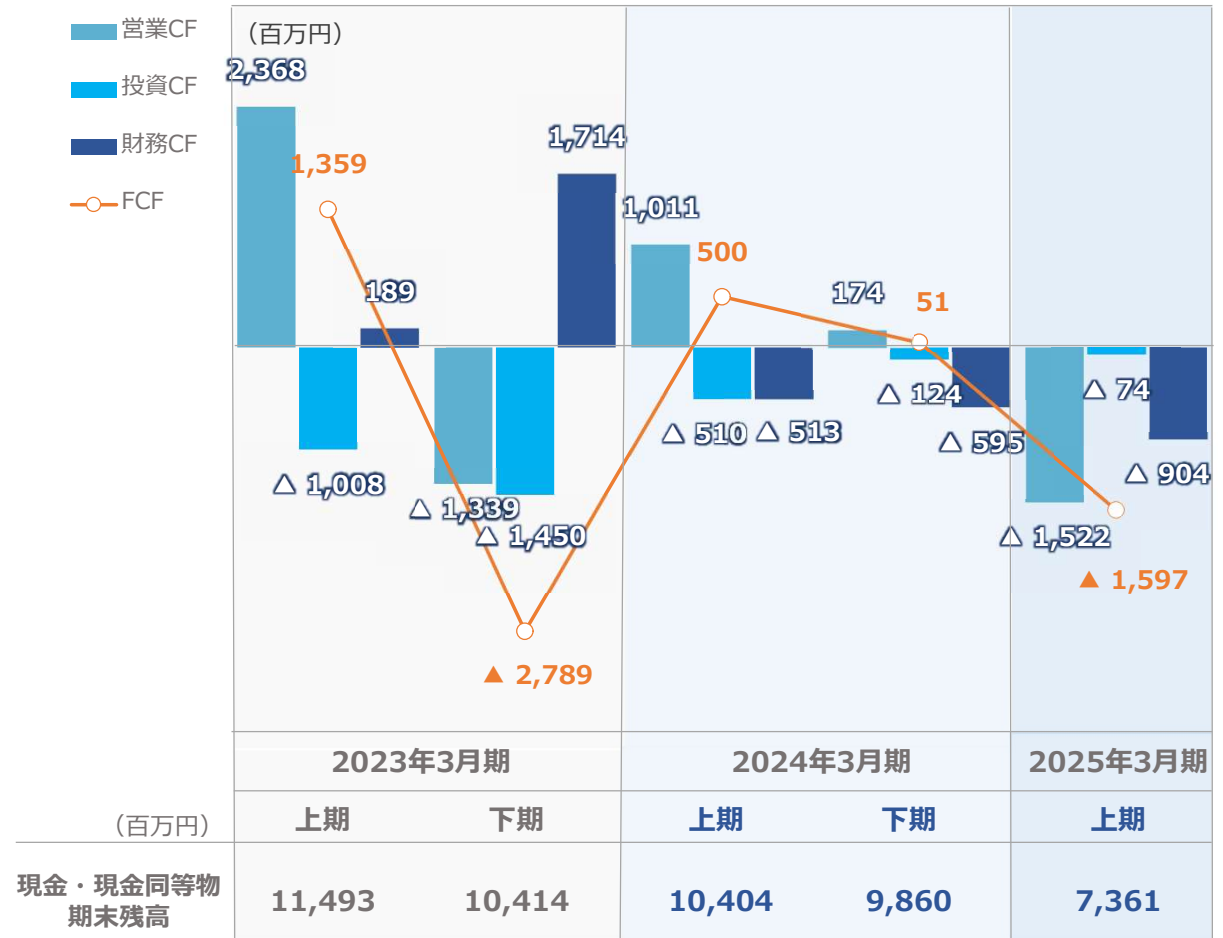
46.0%

連結キャッシュフロー

・ 営業キャッシュフロー赤字により、現金・現金同等物期末残高は減少

キャッシュフロー計算書

- 仕入債務の減少と棚卸資産の増加による支出の増加で営業キャッシュフローは大幅なマイナスに
- 23年3月期にて当面の設備増強は完了し、投資キャッシュフローは大幅な支出減少
- 新規借入の抑制により、財務キャッシュフローは減少



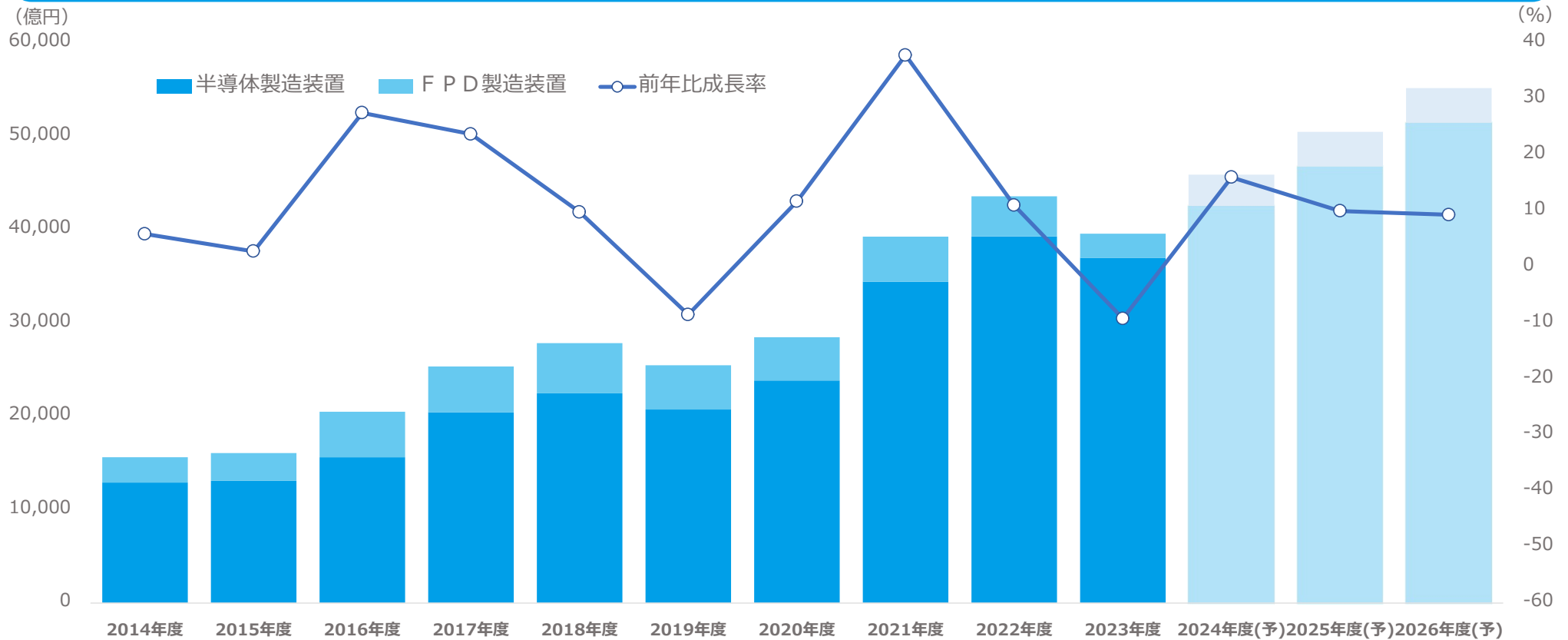


2025年3月期
連結業績予想

半導体製造装置市場動向

- ・ 2024年度後半から回復を見込み、2022年度を超える予測
- ・ AI関連半導体の需要増加等を背景に、中長期的に拡大傾向

半導体・FPD装置 日本製装置販売高予想



出所：SEAJ 2024年7月4日発表資料を基に当社にて作成

2025年3月期 通期連結業績予想（変更なし）

- 顧客の在庫調整等が進み下期からの回復を見込み増収増益を予想

(百万円)	2024年3月期			2025年3月期				
	通期			通期			中間	
	実績	前期比	構成比	通期予想	前期比	構成比	中間実績	中間進捗率
売上高	39,013	▲13.8%	100.0	43,800	12.3%	100.0	16,161	36.9%
営業利益	1,218	▲48.1%	3.1	1,540	26.4%	3.5	423	27.5%
経常利益	1,189	▲49.1%	3.0	1,520	27.8%	3.5	403	26.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	848	▲48.2%	2.2	1,030	21.4%	2.4	252	24.6%
1株当たり配当金	93.0円	—	—	99.0円	—	—	—	—
設備投資額	292	—	—	221	—	—	—	—
減価償却費	287	—	—	303	—	—	—	—

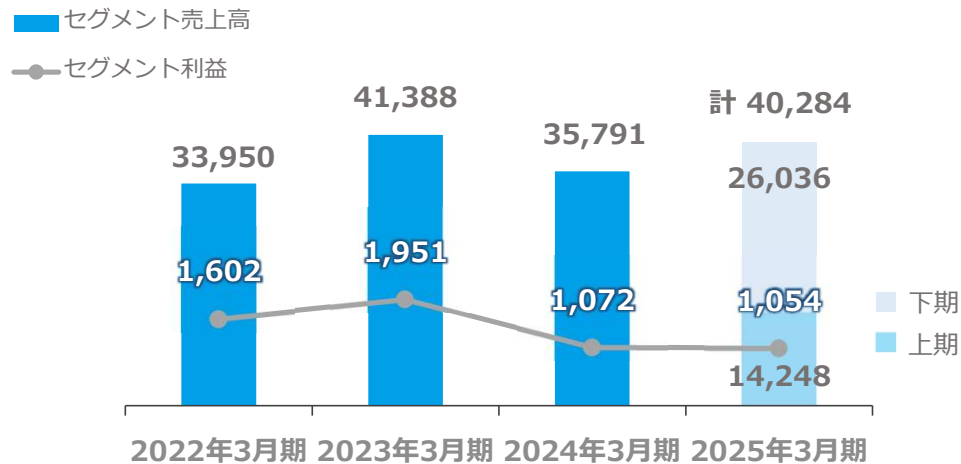
セグメント別業績予想（変更なし）

- 販売事業は、費用増により増収減益予想
- 受託製造は、大幅な利益改善を見込む

販売事業

- 在庫調整が進み下期から回復に伴い増収を見込む
- 増収を見込むも、費用の増加から減収予想

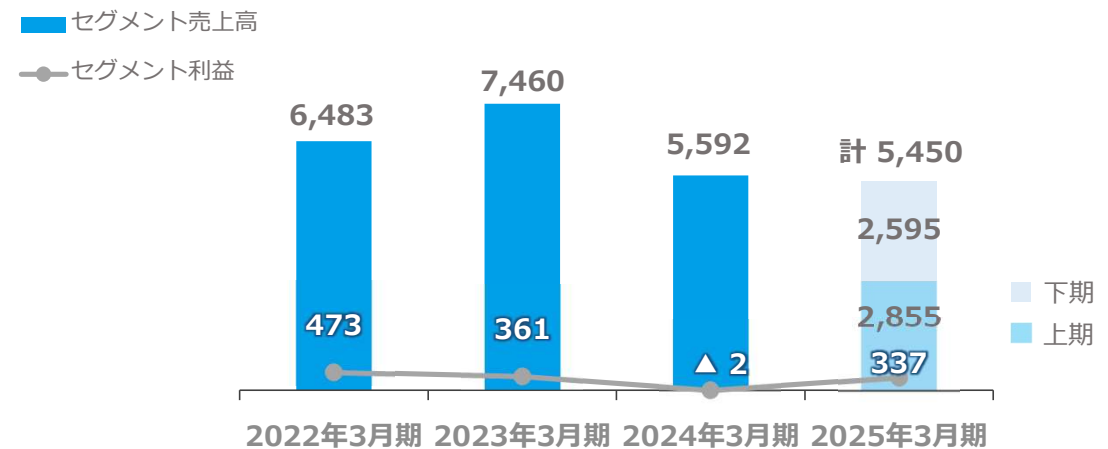
(百万円)



受託製造事業

- 下期も堅調に推移見込み
- 実質売上の増加から増益を予想

(百万円)



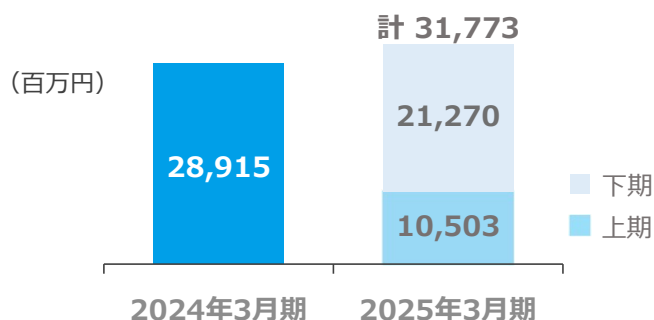
(注) セグメント売上高及びセグメント利益は、連結調整前の数値となっております

事業ポートフォリオ別業績予想（変更なし）

- 下期以降の回復を見込み、各事業ポートフォリオの売上予想を変更せず

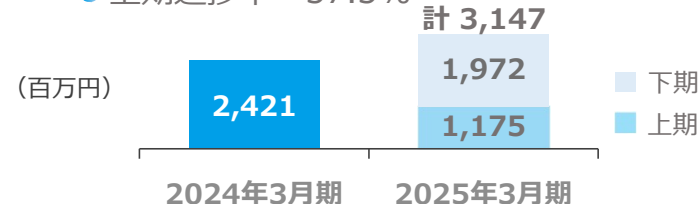
サプライチェーン・ソリューション事業

● 上期進捗率 33.1%



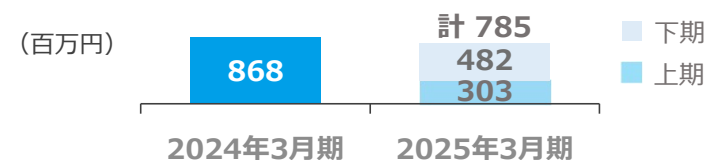
フィールド・ソリューション事業

● 上期進捗率 37.3%



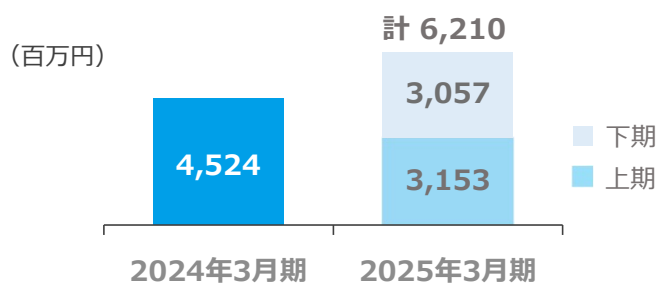
テクニカル・ソリューション事業

● 上期進捗率 38.6%



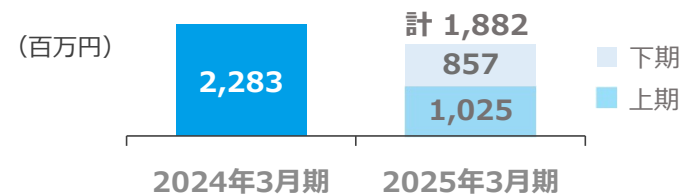
マニュファクチャリング・ソリューション事業

● 上期進捗率 50.8%



プレジジョンマシニング・ソリューション事業

● 上期進捗率 54.5%



(注) 事業ポートフォリオ整理見直しを行った結果、24年3月実績を修正変更しました。



参考資料

参考資料 会社概要

本社所在地	東京都世田谷区三軒茶屋
設立	1961年6月
事業内容	半導体製造装置の部品の仕入販売、 受託製造が2本柱
従業員数	連結 645名（2024年9月末）
連結子会社	内外エレクトロニクス株式会社 納宜伽義機材（上海）商貿有限公司



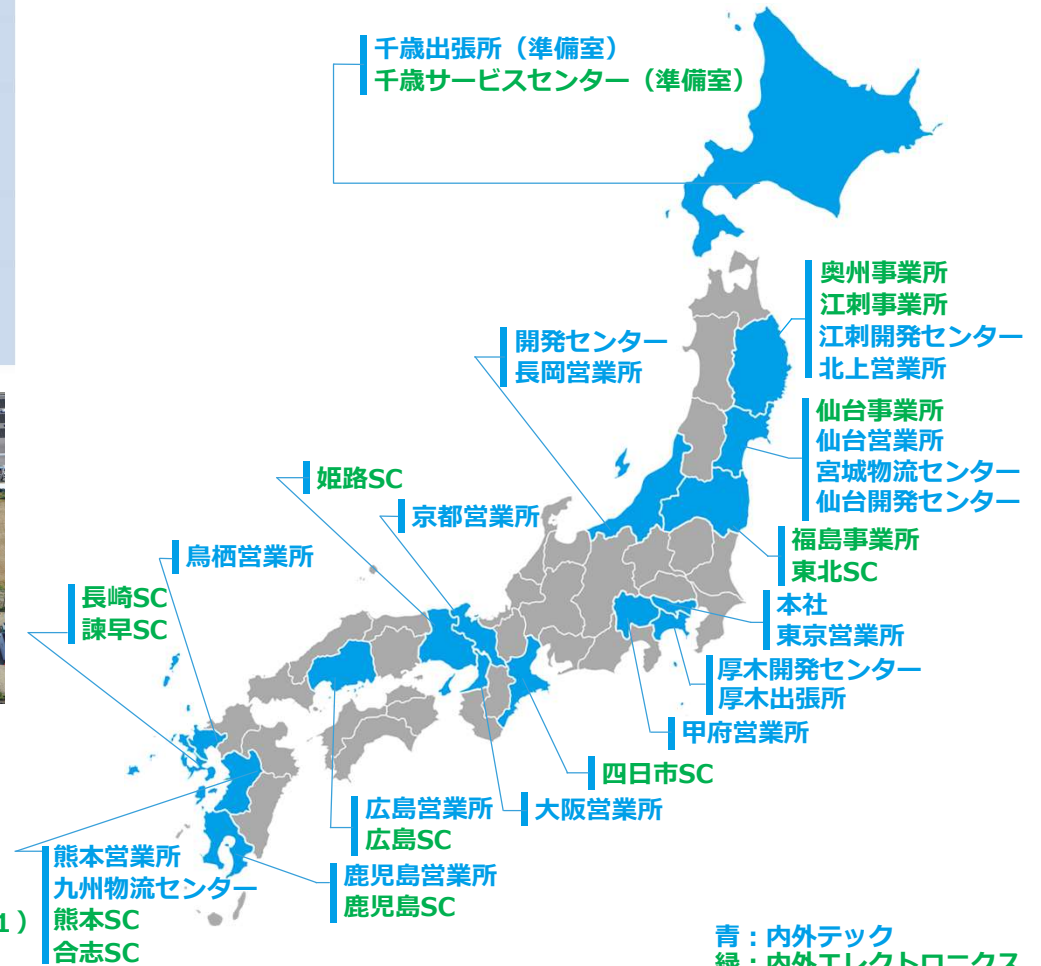
本社・東京営業所

納宜伽義機材（上海）
商貿有限公司

仙台事業所

国内 **35** 拠点海外 **2** 拠点
 内外テック **20** 拠点（今期新拠点+3）

 内外エレクトロニクス **15** 拠点（今期新拠点+1）

 内外機材(上海) **2** 拠点


参考資料 当社グループの主力ビジネス

半導体製造工程概要



内外テック
技術提案商社



内外エレクトロニクス
受託製造メーカー



モノづくりができるメーカー商社

NaigaiTEC Corporation

- ・本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません
- ・本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません
- ・銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします

内外テック株式会社

<https://www.naigaitec.co.jp>

スタンダード：3374